

令和 2年 3月13日

四国地方整備局

社会資本整備審議会 道路分科会 令和元年度 第1回 四国地方小委員会の結果について

四国地方整備局において、直轄事業の事業評価など地方における道路事業の効率的な実施に関し、意見を聴取するための「社会資本整備審議会 道路分科会 令和元年度 第1回 四国地方小委員会」を持ち回り形式注（書面にて審議）により開催しましたので、その結果をお知らせします。

議題：令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について
・一般国道493号（阿南^{あなん}安芸^{あき}自動車道）野根^{のね}安倉^{あぐら}道路

委員会資料は、四国地方整備局HPに掲載しています。

http://www.skr.mlit.go.jp/road/ir/syaseishin_shikokusyoin/r1/index.html

（トップページ → 道路部 →

→ 道路IR／社会資本整備審議会 道路分科会 四国地方小委員会 → 令和元年度）

注）今般、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、社会資本整備審議会道路分科会運営規則第3条第6項の規定により、各委員の意見を書面にて徴し、その結果をもって小委員会の調査結果に代えたもの。

< 問い合わせ先 >

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路計画課長 ^{すずき}鈴木 ^{だいけん}大健

電話（087）811-8322（直通）（内線）4211



四国地方小委員会の概要と意見

令和2年度予算に向けた道路事業の新規事業採択時評価について、四国地方小委員会を持ち回り開催した結果を、以下のとおり社会資本整備審議会道路分科会に報告する。

令和 2年 3月11日

社会資本整備審議会道路分科会
四国地方小委員会委員長 山中 英生

□委員名簿

氏名	所属・役職
くらうち しんや 倉内 慎也	愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授
こんどう あきこ 近藤 明子	四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授
の の むら あつこ 野々村 敦子	香川大学創造工学部創造工学科 准教授
はたけなか ともこ 畠中 智子	高知のまちづくりを考える会 代表
は とり つよし 羽鳥 剛史	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科 准教授
みよし しゅんさく 三好 俊作	四国経済連合会 専務理事
【委員長】 やまなか ひでお 山中 英生	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授
わたなべ つねみ 渡邊 法美	高知工科大学経済・マネジメント学群 学群長 教授

(敬称略、五十音順)

□対象事業

- 一般国道493号（阿南安芸自動車道）野根安倉道路

□議事概要

○事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。

○各委員から下記の意見があった。

- B/Cの値は低くても、地域にとっては「命の道」であり、日常的にあった落石がなくなったり、救命救急車両の到達時間が短縮されるなど、その効果は大きく、地域の存続に必要不可欠。
- 整備効果は決して「ゆず」だけに留まらず、また、その波及地域も田野町や安田町、安芸市等にも広く及ぶと考える。
- 本区間は四国8の字ネットワークの一部であるので、ネットワークとしての道路の必要性や整備効果について、継続的に説明していく必要がある。
- 本区間の早期整備並びに、ネットワーク効果を高めるためにも、他の未事業化区間、特に隣接する区間を早期事業化すべき。
- 防災に関する評価指標については、評価手法の改善を地方から提案していく必要があるのではないか。
- 当該地域は地質が脆弱であり、事業者の責務として、地質リスクへの積極的な取り組みが求められる。
- 一般道でもあることから、広域物流と地域の生活交通が両立できる様に、安全性の確保に十分注意を払って整備する必要がある。
- 四国8の字ネットワークとしての重要性を鑑み、近い将来、自動運転車両や接続トラック等に関する構造基準などが設定された際にも対応できるようにして頂きたい。
- 現道沿いの住民の利便性が低下しない様に配慮頂きたい。

□結論

一般国道493号（阿南安芸自動車道）野根安倉道路の新規事業化については妥当である。